

令和4年1月28日

急遽お集まりいただきましてありがとうございます。

私の方から今日は3点申し上げたいと思います。

項目を申し上げます。1点目は重点措置の区域の地域の拡大であります。2点目は保健所の業務の重点化であります。3点目は検査キットについて、これは県民の皆さんへのお願いがございます。

まず、今日の新規の感染者数でございますけれども、この後、事務的に詳細を申し上げますけれども、新規感染者数は671名であります。三重県過去最多の感染者数ということになります。

(資料の提示)

671の感染者数ということで過去最多であります。お一人お亡くなりになっておられまして、心よりお悔やみを申し上げます。今月になりまして、お亡くなりになっておられる方は8人ということになりました。病床使用率41.5%で50%に迫るような状況であります。県民の皆さんにはご不便を強いておりますけれども、より一層対策を徹底していただきたいというお願いでございます。

(資料を提示)

1点目につきまして申し上げます。尾鷲の保健所の管内と熊野の保健所の管内につきましては、1月21日からのまん延防止等重点措置の適用対象地域ではない、重点区域ではないということで、重点措置区域ではないということにしましたが、その後の数字が変化をいたしまして、1月31日から重点措置区域を変更しまして、尾鷲と熊野の保健所の管内、すなわち、ここにございます5つの市町に関しまして重点措置区域といたします。これによりまして三重県全圏が重点措置区域ということになります。

尾鷲の保健所の管内につきましては、直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者数119.9人でありまして、急増しております。尾鷲管内では介護施設でのクラスターの発生がございますが、感染経路不明というのも出ております。また、熊野の保健所の管内は、人口10万人あたりの感染者数は5.8人ということで、基準であります1週間あたりの25人というのには達していませんけれども、生活圏が近い尾鷲保健所管内での感染者が急増しておりますこと、それから和歌山県の新宮保健所管内でも感染者数が急増しているということで、私ども聞いております和歌山県の新宮の保健所管内の感染者数は1週間人口10万人あたりの1月21日から27日の1週間10万人あたりで61.3人と聞いています。すなわち、尾鷲と新宮に挟まれた熊野につきましても、生活圏を一体としているということもありまして重点措置区域としたいというふうに考えております。

今回新たに重点措置区域となります5市町の飲食店におきましては、営業時間の短縮を要請するというところでございますが、協力金の支給もございましてご協力をお願いしたいと思います。協力金については他の地域と同じであります。なお、協力金の早期支給につきましても5市町の飲食店につきましては一律17.5万円の早期支給をさせていただきた

いというふうに思います。

引き続きマスクの着用、マスク会食もそうですが換気、それから手指の消毒等に努めていただきたいというふうに思っております。

次の話に移る前に各種のデータを私の方から申し上げたいと思います。

まず、病床使用率は先ほど申し上げました、41.5%であります。それから宿泊療養施設についてでございますけれども、今朝の段階で114室を使用しております。稼働しておりますのが334室でございますので、34%ということになります。なお、この週末にかけて、三重県内5施設すべてが稼働しますので、665室が稼働するということになります。これで行きますと17%の使用率ということですが、宿泊施設ですね。それから自宅療養されている方ですが、3,502人です。一昨日が2,500人程度ですから、2日間で1,000人増えているということになりますが、食事については届いているということと、連絡も保健所またはクリニックとの連絡はつくようになってございます。それから酸素ステーションでありますけれども、酸素ステーションについては、まだ使用は0人、幸いなことに0人ということでございます。

続きまして2点目であります。

保健所業務の重点化であります。保健所職員につきましては、現在増員を行っているところでございます。今日時点の見込みも含めましてですが、81名の応援派遣をしているところでございますけれども、やはり増員を行いますけれども、増員のみでの対策業務の維持には限界がございまして、本日から当分の間、県内全域の保健所を対象にしまして、業務の重点化を図りたいと思っております。

まず、濃厚接触者の特定ですが、これは止めておられる県もありますが、これは実施をいたします。従って、これは重点化の対象ではありません。重点化の対象につきましては、無症状の濃厚接触者につきまして、重症化リスクのある方、例えば高齢者でありますとか妊婦、肥満の方、糖尿病の方と受験生ですね、重症化リスクのある人と受験生、保健所が必要だということで判断した人を除きまして、PCR検査を実施しない、ご自身での健康観察を依頼したいというふうに考えているところでございます。発症された時には、ご自身で医療機関あるいは受診相談センターに電話相談をしていただきたいというふうに思います。これが2点目でございます。

3点目は検査キットの不足についてであります。抗原定性検査のキットにつきましては、先ほどの知事会議でも安定供給のご協力、国による増産、これを訴えたところでありまして、各県知事もお話をされておられましたので知事会からも依頼をするということでもございましたけれども、三重県でも抗原定性検査キットは少なくなっております。発注をかけてもなかなか入ってこない、いつ入ってくるかわからないと言われている、こういう状況でありますし、注文した数が届かないということも聞いております。

現在、薬局などでは抗原定性検査キットによる検査と、PCR検査、これ両方をやっておられる薬局もありますけれども、可能な限りPCR検査でやってくださいということも私に既に頼んでいるところであります。薬局に対してですね。従いまして、これは県民の方に

も是非ご協力をお願いしたいと思っております。薬局で検査をされる場合、可能な限りPCR検査をお願いしたいというふうに思っております。今後もこれが続いていきますと、今はお願いでありますけれども、薬局の検査はPCRのみということで決めて進めていかなければいけないということになりますので、是非ご協力をお願いしたいと思います。なお、検査に関しましての新規の登録につきましては、2月1日から当分の間、見合わせをしたいというふうに思っております。現在の検査の登録は133、今は10拠点がちょっとそのうち使用しておりますので、123拠点が今動いているということでもあります。

以上が今日の発表項目であります。参考に1点だけ申し上げますと、1月30日に県営の接種会場であるツッキードームを視察させていただきたいと考えています。10時半から視察をさせていただきます。現在1月30日のツッキードームの予約、これはモデルナでありますけれども予約は100%埋まっております。600名ワクチン接種をいたしますが、100%ということでもあります。なお、2月12日の伊勢、これも県営接種会場ですが、これも91.4%埋まっている状態です。なお、2月19日、20日の四日市大学の接種については、まだ予約は10%未満でございますので、ここを使っていただくということもあろうかと思っておりますので、ご勘案をいただければと思います。

私からは以上であります。